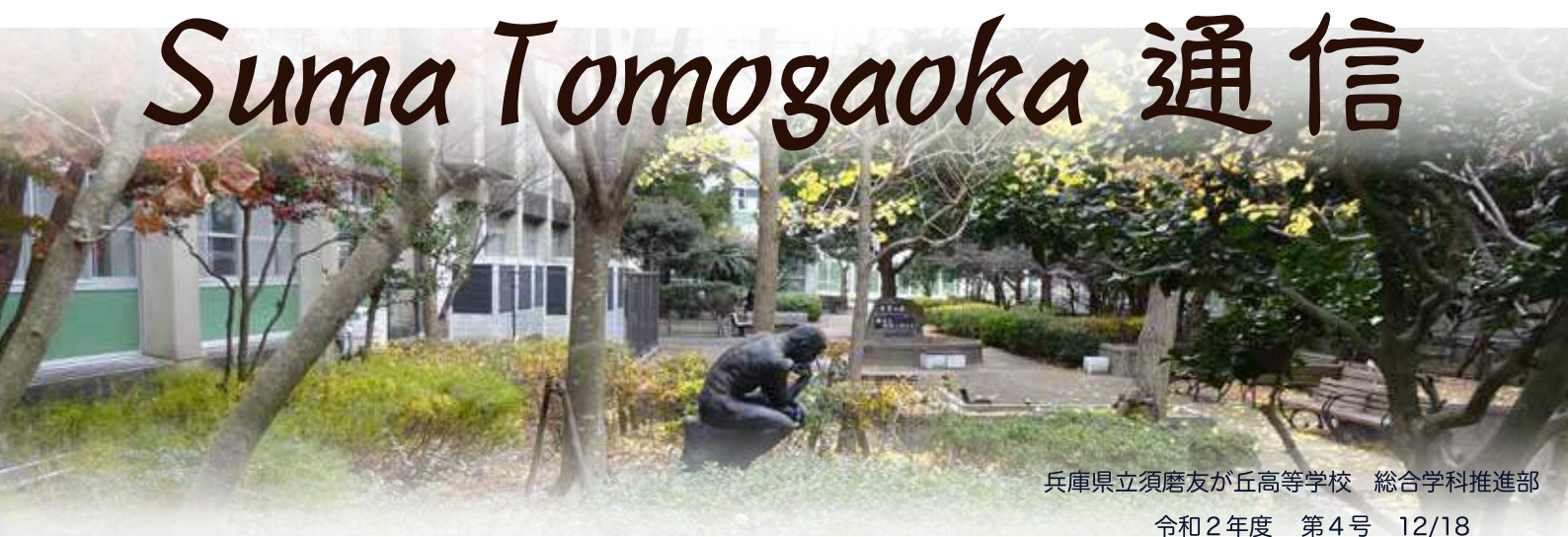




兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部

令和2年度 第4号 12/18

兵庫県高等学校総合学科研究発表会開催される

11月20日（金）に、第22回兵庫県総合学科高等学校研究発表会（兼第19回兵庫県立須磨友が丘高等学校総合学科発表会）が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を限定し、来賓挨拶やポスターセッションを動画配信にするなど、規模を縮小した形で実施することになりました。1年次「産業社会と人間」の学問分野研究の発表、2年次「課題研究」の経過報告では、鋭い洞察と考察を交えながら、日ごろの活動の成果を精一杯発表することができました。3年次生と、協力校の神戸甲北高校、淡路高校、須磨翔風高校の代表者による「課題研究」の完成度は非常に高く、多くの人々が納得させられたのではないのでしょうか。また、近年本校の総合学科発表会で行っているパネルディスカッションでは、課題研究の発表を行った生徒が人の意見をうまく受けながら自分の考えを堂々と述べる様子が伺え、とても頼もしく感じました。総合学科とは、「産業社会と人間」を含む多様な教科・科目の選択履修によって自己理解を深め、また、社会や学問に対して関心を持ち、「課題研究」を要（かなめ）とする課題設定・解決型の授業を通して人間としての在り方・生き方について考察し行動するスキルを身に付けることを目標とする学科です。今回の総合学科発表会では、まさにそのような「総合学科での成長の過程」を伺い知ることができたのではないかと思います。

一方で、近年は普通科においても選択科目が増えつつあり、また、課題研究のような取り組みも行われるようになってきていると聞きます。総合学科での取り組みが形だけの活動とならないよう、全生徒と全教職員が今一度総合学科の学びについて認識を共有し、更には、時代の変化を見据えながら「次代の総合学科」を検討していく必要があるのではないかと思います。

【本校生による発表】			
1年次	井手 彩乃	安川 穂夏	「産業社会と人間 プックトーク」
2年次	箱 緒珠	田端 茉緒	「課題研究 中間発表」
3年次	中村 秀人	「3D-CGを使用したVR動画の制作」	



1年次 産社



2年次 課題研究



3年次 課題研究



パネルディスカッション

第1回学校説明会開催

11月7日（土）に今年度の第1回学校説明会が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、8月のオープンハイスクールが中止となったためか、600人以上の多くの中学生・保護者の方々が参加されました。密を避けるため参加者は2グループに分かれ、体育館と教室の前後半入替制で各プログラムを消化しました。体育館では、未来へ向かって突き進む力強いメッセージが込められた「書道パフォーマンス」が披露されたり、3年次課題研究の映像作品が紹介されたりしました。各教室では、生徒会が動画やパワーポイントを効果的に用いて学校紹介と座談会を行い、本校の魅力がたくさん詰まった会となりました。



クロスカリキュラム（教科横断型講座）報告

36回生総合的な学習の時間の締めくくりは「クロカリ」！

コロナ禍による休校で一時は実施も危ぶまれた今年度のクロカリでしたが、11月末に最終回を迎えられました。今年度の講座は以下の通り。定番物から新しい試み、今年ならではのものまでさまざまな内容でした。

電子紙芝居を作ろう、しかも英語で	英語・情報	簡単な英語でも言いたいことが伝わるんだなと思いました。パソコンでできることがたくさんあって驚きました。自分たちで話の内容や登場人物を考えるのが面白かった。
Olympic in ST 2020	英語・体育	意外とスポーツ中は英語使うことが多いって気づいたので、やっぱりスポーツは世界共通なんやなと思った。オリンピック競技を国際的視点から見るのが出来た。
自然科学を体験しよう	数学・理科	普段スマートフォンで撮影しているけれど、昔の人はこうやって撮影して現像しているのが分かった。話したことが無い人と関わり、友達の輪が広がった。
もしも関西弁が標準語だったら、J-POPはこうなる！	国語・音楽	イントネーションが変化するだけで曲調という雰囲気がガラッと変わるのがすごく面白かった。作曲をすることの難しさが少しわかった。
世界のスポーツ	社会・体育	マイナースポーツは面白くないと思っていたけど、実際にやってみるとなぜマイナーなのかと言いたくなる面白さでした。調べたことを実践したのはとても楽しかった。
異文化理解（ひょうごと世界各国）	家庭・英語	それぞれの祭りにいろんな意味が込められていて地域の人はずごく大切にしているのだと学んだ。グループ発表も楽しかった。
オリンピック・パラリンピックから学ぶ、これからの社会	英語・体育	実際にシッティングバレーを体験したり、留学生と交流できたりして楽しかった。他国でも考え方は同じで、共生社会を強く望んでいるのが分かった。
まめまめしきもの	国語・美術	昔の人の気持ちや生活を想像しながら作品を作ることが出来てとても楽しかったです。古典文学に対してより関心を持てた。また、作品を作る楽しさを改めて感じられた。
オリジナル旅行企画を作ろう！	社会・情報	行きたい旅行の計画を立てると、その土地の名産や観光地を知ることが出来たのでコロナが無くなったら、行って、自分の目で見たいと思いました。
TOMOGA 川柳「愛・感謝・恩返し」～後輩へ繋ぐ想い～	書道・国語	他の人の絵や作品を見て、自分も真似しようと思い、上手く書けるようになった。川柳は少し堅苦しいと思っていたけど、友が丘に関してのユニークなものも色々できた。



月曜の6時間目が、生み出す苦しみから、自分で学ぶ楽しみに変わり、一人ひとりがクロカリの内容を充実させていたことが印象的でした。これから学んでいく中、生きていく中でも、新たな視点を加えてチャレンジしていつてもらえたらと思います。

1年次「産業社会と人間」学問分野研究ポスター発表

12月4日（金）、1年次の「産業社会と人間」の時間に、学問分野研究（プレゼミ）のポスター発表を行いました。9月から、全13の学問分野ごとのゼミに分かれ、各ゼミで設定された課題図書をもとに研究を進めてきました。まずはレポートを仕上げ、今回は、その成果をポスターにまとめた発表となりました。生徒たちの発表は、わかりやすくポスターが工夫されていたり、研究を通して考えた自分の意見がはっきり述べられていたり、3ヵ月間の学びが見て取れる内容でした。生徒たちが自分の興味・関心に向き合い、探究するよい機会になったように思います。



以下、生徒の活動の振り返りと、次年度の課題研究に向けてのコメントです。

- 著者の考えについて自分で問いを立てることや、その問いへの答え、答えを成立させるための理由を考えることが難しかったです。参考になる文章を読むなどしてヒントを得るようになりました。
- 著者の主張をふまえて自分の考えを出しましたが、そこからまた疑問が出てきたのでその考察が難しかった。本を読み返して考えたり、友だちに聞いてもらったりしながら考察した。
- 今回は本についてのまとめだったけど、課題はイチから自分で考えないといけないので難しそうだと思います。でも、自分が興味を持った研究をできるのが楽しみです。
- 初めてのことも多く大変でしたが、ブックレポートからプレゼン発表までやり切れたので良かったです。来年からは総合学科ならではの課題が本格的に始まるので、自分の興味あることなど将来役立つようにできればいいと思います。



現在、各ゼミから1名ずつ、ポスターをセミナールーム前に掲示しています。ぜひご覧ください！